

特集 米原で最高の音楽を

音楽を聴いて元気が出た、勇気が湧いた、笑顔になった、懐かしいあの頃を思い出した：そんな経験がきつとみなさんにもあるのではないのでしょうか。音楽は人の気持ちを動かす大きな力があります。そんな素晴らしい魅力をもつ音楽に出逢えるまちに、私たちは暮らしています。

平成13年4月、長岡に開館した、市民交流プラザ（愛称ルッチプラザ）は、コンサートホール、図書館、福祉センターの機能を併せ持つ文化と福祉の複合型施設です。「市民が使いやすい施設」を重視し、市民が設計段階から意見を出し合うワークショップ方式で完成しました。

中でも、コンサートホールの「ベルホール310」は、プロのコンサートにも対応できる機能と性能を兼ね備えた質の高い小規模コンサートホールとして設計。今まで多くのコンサートやイベントが開催され、たくさんの方の観客に感動を届けてきました。

このように素晴らしいホールですが、一度も訪れたことがないという人もあります。

今回の特集では、ルッチプラザのベルホール310の魅力をご紹介します。これを機会に、米原で音楽の楽しさや素晴らしいを感じてみませんか。



▲空から見下ろした「ルッチプラザ」
蛸が羽を広げた形にデザインされています。

「ルッチプラザ」 その名前の由来は：

国の特別天然記念物に指定されている長岡のゲンジボタルをイメージし、イタリア語の蛸（ルッチ）オーレ、また、光や希望を意味するルッチエに由来します。開館前に公募し、当時京都市に住む21歳の学生の応募作品が選ばれ、名づけられました。





ピアノ奏者
憧れの、ス
タインウェ
イ&サンズ
社製D-274
型のコンサ
ートグランド
ピアノを
配備し、身近に本物の
響きが味わえます。



お問い合わせ

市民交流プラザ（ルッチプラザ）

〒521-0242 米原市長岡1050番地1

☎ 55-4550 ☎ 55-4556

開館時間 9時～20時

*金曜日は21時まで

休館日 毎週月曜日

*月曜日が祝日の場合は翌平日

ベルホール310

「ベルホール310」高機能な音響設備をもち、観客との一体感を生むシュールボックスタイプの本格的コンサートホール。310席のどの座席でもきれいに聞こえるように、音響学を駆使し、精密な計算のもと造られました。

クラシック音楽などの生演奏が行われるホールでは、音の響きを豊かに味わえるようにするため、「残響時間」が長くなるように音響設計を行います。残響時間とは、音の発生を止めた後から音が聞こえなくなるまでの時間をいい、これを左右するのが、内装の天井、壁、床、そして「椅子」の吸音特性だと言われている。

ます。特にホールの空間は椅子の占める割合が高いので、ベルホール310の椅子はこだわりの逸品が導入されています。

「椅子」ベルホール310の椅子は、吸音力が非常に小さく、また、木製の背板が低音域を吸収するのに対し、観客が中高音域を吸収するため、バランスのとれた心地よい響きが得られる吸音特性をもっています。

さらに、座席の幅は、50センチメートルでゆとりをもって座ることができます。肘掛けや脚はもちろん、座面や背面の裏にも木材を使用し、ぬくもりを伝えてくれます。

「親子席、車椅子対応席」ホールには、親子席や車椅子対応の席も設置され、より多くの人がより身近に音楽とふれあえる空間を創り出しています。

「楽屋」楽屋は6つあり、練習室を兼ねた完全防音の部屋もあります。録音スタジオとしても利用できます。

「スタジオ310」ランチプラザ1階にある収容人数約80人の多目的スタジオ。ホタルをイメージした照明が幻想的な雰囲気、ミニライブやリハーサル、会議の会場などとして、幅広く利用できます。

聴くだけじゃない！
利用者にもなるう

ランチプラザは、地域のための施設です。各施設は、貸し出しも行っています。「ホールを使つてこんなことをやってみたいんだけど」といったことがあれば、ぜひお気軽にご相談ください。イベントに適した設備の使い方提案や、機材の手配など、可能な限りご要望にお応えします。

詳細は、市公式ウェブサイトを閲覧いただくか、ランチプラザへお問い合わせください。

プロの音楽をすぐ近くで —公共ホール音楽活性化事業—

「ルッチプラザでコンサートを聴いたことがない」
「聴きに行きたいけれど、忙しくてなかなか行けない」
「クラシックのコンサートは敷居が高い・・・」

ルッチプラザのホールやクラシック音楽になじみの薄い人や地域へ、プロの音楽家が出向き、音楽の魅力を伝え、楽しさを体験させる「公共ホール音楽活性化事業」が開催されました。

この事業は、(一財)地域創造が全国に公募して実施するもので、今回、米原市では初めて開催されました。(一財)地域創造のオーディションで選ばれたプロの打楽器奏者前田啓太さんと、専門家のコーディネーターが派遣され、3日間で4か所に出向いてアウトリーチ活動*を行いました。最終日には、ホールで本格的なコンサートを行いました。

*アウトリーチ活動…
劇場や行政が、芸術や文化に触れることの少ない住民や学校、地域に出向く、現地出張サービス。



▲前田さんが演奏で使うマリンバ

やすらぎコンサート

～音楽で癒しのひとときを～

9/4
スタジオ310

子育て支援センター利用者の0～2歳児とその保護者およそ20人を対象に、ミニコンサートが開催されました。これ



は、日ごろは忙しく、本格的な音楽を聴く時間をもてない子育て中の人に癒しの時間をもってもらえるよう開催されたものです。童謡「あかたんぼ」や「この道」などのマリンバ演奏や、パントマイムで参加者と交流が図られました。

「普段は子どもを預けてコンサートに行くが、今日は一緒に聴けて良かった」「子どもも、音楽に合わせて声をだしたり、手をたたいたり楽しんでいた」と参加者は、やすらぎのひとときを楽しみました。

9/4

伊吹小学校

リズムを楽しもう！

伊吹小ワークショップ

伊吹小学校の4～6年生を対象にワークショップを開催。迫力あるパーカッションの演奏後、音楽の基礎であるリズムを、体を使ったボディパーカッションや楽器体験で楽しく学びました。



プロの演奏に注目！



楽器体験

リズムに合わせてみんなでサンバ！



打楽器奏者 前田 啓太さん

「地元のホールは稼働率が低く、学生が音楽を聴く機会も少なく、もったいないと感じていた」前田さんが公共ホール音楽活性化事業のアーティストオーディションを受けたきっかけです。「非日常空間を届け、毎日とは違う特別な印象を与えるのが、演奏家の役目。この事業を通して、音楽の魅力を伝えたい」と前田さんは話してくれました。

また、「音楽ができる幸せを感じてほしい」と今、音楽をしている人、これから音楽を始めようと思っている人にアドバイスをくれました。



コーディネーター 山本 若子さん

今回、コーディネーターとして事業の企画をつとめた山本さん。

「公共ホールは、その地域の特性をみて、何をすべきかを考えることが大切。まちの人に応援してもらい、愛し、愛されるホールづくりを」と公共ホール運営のアドバイスをいただきました。

また、「音楽には、言葉を使わなくてもできるコミュニケーションの面白さがあります。その生の反応を見せてもらえるところが、この仕事の楽しみ。同時にエネルギー源でもあります」と山本さんは話してくれました。



双葉中ブラスバンド部

音楽の基礎のパーカッション

9/5

双葉中学校

双葉中学校ブラスバンド部のワークショップでは、打楽器奏者から見た演奏のポイントとして「拍を共有する」ことが大切だと前田さんからお話しがありました。

拍を感じるコツとして、前田さんの故郷である富山県の民謡「こきりこ節」をはじめ、さまざまな曲に合わせて手拍子をたたきます。最初はバラバラだった手拍子もだんだんと揃うように。これを意識して現在練習中の「Let It Go」を演奏すると見違えるようになり「拍を共有」して演奏することの違いを感じたようでした。ワークショップを終え、生徒たちは「自分で拍を数えたことはあるけど、みんなで一緒に合わせることが大事だとわかった」と話しました。



近江図書館 ロビーコンサート

9/5

近江図書館

この日は近江図書館に出向き、ロビーコンサートを開催。図書館は優しいマリンバの音色に包まれました。



図書館の利用者や、子育て支援センターを訪れた来館者約40人が、一流の音楽家の演奏に聴き入りました。エントランスホールには、音楽や楽器に関する本の特設コーナーが設けられ、前田さんから打楽器の歴史や構造について説明がありました。

市内のコーラスグループに所属しているという参加者は「車がないので、ルッチプラザには遠くて行けなかったけど、今日は特等席で生の音楽が楽しむことができた」と笑顔で話してくれました。

9/6

ベルホール310

前田啓太パーカッションワールド

～ベルホールに響きわたる多彩な打楽器の音色たち～

最終日は、ベルホール310でコンサートが開催されました。マリンバ演奏や朗読と打楽器の融合など、バロックから現代音楽までの6曲を約1時間半にわたり披露。

観客は、打楽器の魅力に迫った本格的な演奏に聴き入っていました。



音響・照明確認のほか、楽器の場所の調整も。ステージ下にある梁の上に楽器を置くと、音色が変わってしまう。



リハーサル

楽器組立



楽器搬入



事前
打ち合せ



コンサートの舞台裏

本番!



楽屋前の廊下には、アイロンやセルフサービスのお茶等を用意。

専用のケースに収納された楽器は、パズルのピースのように車に積み重ねられて到着。積み下ろしと楽器の組み立ては、アーティストも含め、みんなで一緒に。

会場の下見、当日のプログラムの打ち合わせ、スケジュールを本番2か月前に確認。アーティストの意向をできるだけ取り入れるよう、調整。

それぞれの音を響かせて



米原市には、音楽に深く関わっている人たちがたくさんいます。音楽に携わり、活躍されているお二人に、音楽への想いを聞いてみました。

「聴いてくれる人が、気持ち良く感じてくれたら」という思いでピアノを弾く山東小学校6年生の佐々さん。4歳からお姉さんの影響でピアノを始めました。

8月7日、大津で開催されたピティナ・ピアノコンペティション西日本滋賀地区本選C級の部で2位に入賞し、8月20日に東京で行われた全国大会へ米原市から初めて出場しました。

同級生と比べて手が小さく、オクターブを押さえるのもぎりぎりだという佐々さんは、4月から毎日自宅です2時間、コンクールに向けて練習をしたそうです。このコンクールは、毎年4万人以上が出演する国内最大級の大会で、その大舞台に立った

佐々さんは「普段からピアノを弾く時は集中して、曲にのめりこんでしまっているので、本番の様子もあまり覚えていないけれど、弾き終わった後の拍手がとても大きく感じた」と話してくれました。



「友達、ピアノ教室、学校の先生、みんなの応援のおかげで出場できた。ピアノを通じて色んな人と出会い、仲良くなれるのが嬉しい」という佐々さんは、大会の待ち時間でも全国各地の友達と話して仲良くなったそうです。新たな出会いを楽しみに、今日も練習に励みます。

佐々 比香莉さん

ピアノコンクールで全国大会出場



花月 真さん

世界でただ一人の“オペラ歌手”

オペラ歌手として、世界の舞台で活躍する花月真さん。そんな花月さんは柏原の西来寺の住職でもあります。この経歴を生かし本堂で毎月1回「念仏コンサート」を開催しています。歌う前に曲の説明やトークを交え、コンサート最後の全員で「念仏」を大合唱。参加者は、花月さんの美しい歌声と声量に聞き惚れていました。

花月さんと音楽の出会いは、大学の合唱団。合唱団では指揮を担当し、大学卒業後、独学でオペラの勉強を始めたそうです。その後初めて出場したコンクールで優勝し、オペラ歌手ブルーノ・ペラガッティ氏のもと、オペラの本場イタリアで本格的に学びました。



花月真さん 出演 オペラ「カルメン」ハイライト

1月11日(日) 14時開演
ルッチプラザ ペルホール310
一般 前売3,500円、当日4,000円

チケット
発売中

念仏コンサート

毎月第1金曜日 16時開演
西来寺 本堂(柏原986)

問 シードマスター
☎ 06-6110-5520

予約不要
入場無料

イタリア、日本などのオペラ公演で主要な役を演じ「音楽はどこでもできる」と、昨年、京都から米原に移り住んでこられました。

「東北の被災地へチャリティコンサートに出向くなど、今後も念仏コンサートを拡大し、より多くの人に音楽を届けたい」と語ってくれました。



地域の力で支えています

ルッチプラザでは、施設運営のサポートがボランティアで行われ、協働による運営を進めています。

ホールサポーター

ルッチプラザの自主公演では、16人のホールサポーターが、ホール運営全体をボランティアで行います。チケットのもぎり、チラシの折り込み作業、会場案内、ドアマン、アンケート回収、公演を録音したCDやDVDを編集して主催者に渡すなど、その活動は多岐にわたります。ホールサポーター代表で、照明を担当する児玉勲勇さんは「舞台に出ている人をいかに美しく見せ、聴かせるかが楽しい」と仕事の醍醐味を語ってくれました。また、「ホールが満席になると嬉しい」とサポーターのみなさんは話してくれました。



ガーデンサポーター

ルッチプラザでは、四季折々の花や木が、来館者を出迎えてくれます。これは、市内の花好きのみなさんが毎月第2土曜日に集まり、ボランティアで管理をされています。ルッチプラザが開館した翌年の平成14年9月から活動を開始し、現在は8人がガーデンサポーターとして登録。花の仕入れから手入れまで、楽しく活動をされています。

「観葉植物の手入れが行き届いている」とルッチプラザでの公演後のアンケートに記入されていることもあるそうで、来館者の喜ぶ声はとても嬉しいとサポーターのみなさんは話してくれました。

ルッチプラザを訪れた時は、キレイなお花や観葉植物もぜひ観賞してください。



ホールサポーターやガーデンサポーターに限らず、ルッチプラザでボランティア活動に参加すると、2階レストラン「粗！一寸」やチケット代等で使える「ルッチマネー」をプレゼント！ぜひボランティア活動にご参加ください！詳しくはルッチプラザへお問い合わせください。

ルッチプラザ

イベントスケジュール

11月23日(日) 13時開演

第4回

ルッチプラザ・ピアノコンクール 本選

一般公開・入場無料

12月14日(日) 16時開演

国府弘子スペシャルトリオwith小松亮太
クリスマスコンサート

全席指定 チケット発売中！
前売3,500円、当日4,000円

友の会会員は
それぞれ500円引の
特別割引！

ベルホール310のステージで歌ってみませんか

ホールサポーター企画事業

バンド生演奏カラオケ大会
出場者募集

限定40人！！

11月5日(水) 10時
受付開始

参加費 5,000円

日時

平成27年2月22日(日)

13時30分開演

会場

ルッチプラザ

ベルホール310

*当日の入場は無料

米原市民交流プラザ友の会

まいくらぶ

お得1

自主企画コンサート
チケット10%オフ

お得2

毎公演抽選で
チケットプレゼント

お得3

発売開始1日前に
チケット先行予約

お得4

予約チケットの
置き置きサービス

注：チケットの割引と先行予約は、1会員につき2枚まで

さらに！チケットを累計5枚購入で、
大好評の「ほたるんタオル」をプレゼント！

*年会費1,000円（入会金不要）

*入会はいつでもOK！

*会員の有効期限は、入会の日
から1年後の月末まで。

